

## 芝を張っても またスリ切れる？

春は芝張りの時期です。しかし芝を張ってもまたすり切れる場合が多く、同じ場所の芝張りが毎年の恒例行事になっているコースもあります。

### スリ切れの原因と対策

#### 1. 張る時期が早すぎる

作業の関係で冬に張る場合もありますが、生育するまでの養生期間が長くなり、乾燥などで生育が悪くなります。芝張りの適期は5月～6月です。この頃になると気温が高く芝がすぐ活着します。ただ、乾燥には注意が必要で、粒状の浸透剤であるシャワーゾーンGを散布しておくことで安心です。

#### 2. 張る場所の土壌改良や施肥が十分でない

芝刈りの場所は張った後では中々管理ができません。張る前の土壌改良や施肥が重要です。

##### ① 土壌のpH

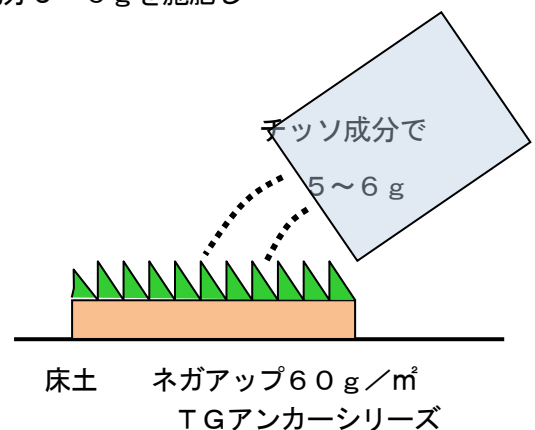
スリ切れの原因は様々ですが土壌が酸性になっている場合が多く見られます。酸性の場合は、必ず苦土石灰などを散布（100 g/m<sup>2</sup>程度）し、土壌を軽く耕うんしてください。土壌が固結している場合も耕うんは必要です。

##### ② 張る前の施肥

これが最も重要で、施肥をせずに芝張りをするコースは多いと思います。後で施肥をする方法もありますが、張芝の下に施肥しておくことで後の管理が楽になります。ネガアップ60 g/m<sup>2</sup>+TGアンカーシリーズでチッソ成分5～6 gを施肥しレーキなどで土壌と混合してから芝を張って下さい。

#### 3. 張った場所は別メニューで管理しよう

ティグラウンドの一部分を芝張りした場合は通常のティグラウンドの管理だけでは不十分です。芝張りした部分だけの別メニューの管理が必要です。スリ切れ防止のためには年間チッソ成分で15 g/m<sup>2</sup>程度は散布して下さい。特にコウライ芝は9月までは集中して施肥して下さい。



### 芝草漫遊記

4月はPGMの関東、中部のGK会議とACD会議にも参加しました。

今まで各地のキーパー会でも話をしておりましたが、私の目標は「眠たくならない話」であり、今回も熱心に聞いていただいたと思います。ありがとうございました。

前回、千葉方面に出張で干し芋のおいしさに感動しました。とても甘いですがお菓子と比べて自然な甘さで忘れられない味です。しかし、干し芋は高いため、今年の冬は自宅で干し芋を何回も作りました。

品種はやはり「紅はるか」です。ねっとり感と甘さが最高です。